

昭和五年三月

論理學教科書

生徒第三學年

海軍機關學校





6 味  
 7 味  
 8 金  
 9 若  
 10 美  
 11 向 馱 )  
 12 向 恩 )  
 13 稽 立

海軍機關學校長 黑田 琢磨

昭和五年三月

本書ニ依リ論理學ヲ修得スヘシ

11  
 1+13 x 13  
 2 (a-1) b  
 1/3  
 1/4  
 1/5  
 1/6



發行年月

昭和五年三月

教官海軍教授三品彰英



# 論理學目次

緒論 論理學ノ性質……………一頁

第一編 原理論……………七

第一章 思考ノ原理……………七

第二章 思考ノ本質……………二

第三章 概念……………一七

一 概念……………一七

二 概念ノ構成……………一八

三 概念ノ内包ト外延……………二〇

四 概念ノ種類……………二四

第四章 判斷……………三〇

一 概說……………三〇



二 判斷ノ種類……………三

三 包攝關係ヨリ見タル主概念ト賓概念トノ關係……………三九

第五章 直接推理……………四四

一 推理……………四四

二 對當關係ニヨル直接推理……………四六

三 判斷ノ變形ニヨル直接推理……………四九

第六章 間接推理……………六〇

一 間接推理ノ種類……………六〇

二 定言の三段論法……………六二

三 複雑ナ定言の三段論法及ビ不規則ナ三段論法……………六二

四 假言的及ビ選言の三段論法……………六九

五 定言的判斷・假言的判斷及ビ選言的判斷相互關係……………七〇

第七章 歸納的推理及ビ類比推理……………七三

一 歸納的推理……………七三

二 類推ニヨル推理(又ハ類比推理)……………七三

第二編 方法論……………一六

第一章 方法論ノ意義及ビ區分……………一六

第一 研究法論……………一三

第二章 觀察及ビ實驗……………一三

第三章 記述ト説明……………一五

第四章 因果關係……………一四〇

第五章 「ミル」ノ歸納的方法……………一五七

第六章 概括、統計及ビ蓋然量……………一五九

第七章 假說……………一六一

第二 統整法論……………一六

第八章 定義……………一七

第九章 區分及ビ分類……………一七



第十章 論證……………一六

第十一章 虛偽論……………一六

論理學目次終

第三學年第一分隊 山本益彦

論理學

山本

緒論 論理學ノ性質

論理學ハ之ヲ簡單ニ定義スレバ、思考ノ科學又ハ思考ノ法則ヲ研究スル科學デア  
 アル。尙ホ一層詳シク云ヘバ、思考作用ノ形式及ビ法則ヲ研究シテ真正ナル  
 知識ヲ得ンガタメニ、守ルベキ規範ヲ定ムルコトヲ目的トスル科學デアルト云ヘ  
 ル。

思考ノ作用ヲ説明スルニハ之ト相對セル直觀ノ作用ト比較シテ考フルコトガ便利デア  
 ル。例ヘバ比處ニ一個ノ机ガアリトスル。此ノ机ノ姿ガ眼ヨリテ心ニ映シタ儘ハ直觀デア  
 ル。或ハ記憶ニヨリテ會テ經驗シタ机ノ姿ガ心ニ浮ンダ其ノ儘ハ直觀デア  
 ル。想像ニヨリテアル特別ノ色彩、形狀、大サチ有ツタ机ヲ想ヒ浮ベタ時モ同ジク直觀デア  
 ル。然ルニカカル直觀ノ作用ニ反省ノ作用ノ加ハツタ時ハ思考ノ作用トナル。例ヘバ、之ハ  
 某所有ノ机デア  
 ル、讀書スルニ用フルモノデア  
 ルト考フルコトハ、既ニ其ノ見タモノニ就テ反省シタ結果、始メテ起リ來ルモノデ、思考ノ作用デア  
 ル。此ノ机ハ檜デ作ツタモノデア  
 ル、此ノ机ハ大理石デ作ツタモノデア  
 ルト考ヘタ時モ同様デア  
 ル。否、之ハ机デア  
 ルト考ヘタ時モ既ニ直觀デハナクシテ思考ノ作用ニ屬スルモノト見ナケレバナラヌ。蓋シ反省ノ作用トハ細  
 カニ云ヘバ、比較、辨別、分析、綜合等ノ作用ヲ指スモノデ、此ト彼トヲ比較シ、辨別シ、若クハ複

規範  
 一定目的又ハ標準ニ座  
 センガ爲ニ吾人ノ當然守  
 ラザルベカラザル法則ヲ言フ。



雜ナルモノヲノ要素ニ分析シ、簡單ノ要素ヲ綜合シテ一纏メニスルトキハ、常ニ反省ノ作用ガ存在スルモノデ、從ツテ此等ノ作用ガ存在スル限りハ、所謂記憶ノ作用又ハ想像ノ作用ニモ思考ノ作用ガ含蓄サレテ居ルモノト見ナケレバナラヌ。サレバ論理學ト云ヘル學問ノ究研スル所ハ專ラ此ノ思考活動ノ純粹ナモノニ就テアル。

存在ノ法則(自然ノ法則)

經驗的法則

數理ノ法則

當然ノ法則(規範法則)

眞ニ論理學

善ニ倫理學

美ニ美學

聖ニ宗教

次ギニ、論理學上ノ法則ノ意義ヲ説明シヨウ。法則ニハ存在ノ法則又ハ自然ノ法則ト稱スルモノト、規範ノ法則又ハ當然(或ハ當爲)ノ法則ト稱スルノモトガアル。存在ノ法則トハ事物ガ唯カクアルト云フコトヲ示スモノデ、事物ノ變化ガ一定ノ秩序ニ從フ所カラ、同一ナ事情ノ下ニハ常ニ同一ノ變化ノ起ルコトヲ意味セルモノデ、所謂自然科學ニ於テ研究スル法則ナルモノハ、皆此ノ種ノ法則デアール。此ノ法則ノ中ニモ經驗的事實ヲ基礎トシテ居ル所謂經驗的法則ナルモノト、先天的根據ノ上ニ立ツテ居ル數理ノ法則ノ如キモノトヲ區別スルコトガデキルガ、論理學ニ於テ取扱フ所ノ法則ナルモノハ、此ノ如キ經驗的法則又ハ數理ノ法則トハ趣ヲ異ニシテ居ルモノデアツテ、或ル一定ノ目的又ハ標準ニ達センガタメニ吾人ノ當然守ラザルベカラザル法則デアール。即チ當然ノ法則又ハ規範ノ法則ト稱セラルルモノデアール。

此ノ規範的法則ヲ研究スルモノハ論理學以外ニ尙倫理學及ビ美學ガアル。倫理

學ハ善ト云フ標準又ハ理想ニ達センガタメニ吾人ノ守ルベキ法則ヲ研究シ、美學ハ美ト云フ標準ニ達センガタメニ守ルベキ法則ヲ研究スル。而シテ論理學ハ即チ眞ヲ標準トシテ之ニ達センガタメニ守ルベキ法則ヲ研究スルモノデアール。論理學ヲ以テ規範的科學ノ一種ト見做スハ之ニ依ルノデアール。

心理學ニ於テモ思考ノ法則ハ研究サレル。即チ心理學ニ於テモ如何ニシテ思考ノ活動ガ起リ來ルカ、如何ニシテ行ハルルカ、其ノ活動ニ關スル一定ノ秩序ヲ求メントスルノデアアルガ、然シ心理學ノ研究スル所ハ其ノ自然ノ法則デアツテ單ニ事實ヲ研究スルニ過ギナイ。然ルニ論理學ニ於テハ如何ニ思考スベキカ、正確ナ思考トハ如何ナルモノデアアルカヲ論ズル。故ニ心理學ニ於テハ思考ノ眞僞ト云フコトニハ關係シナイ。論理學ニ於テハ眞僞ト云フコトガ中心ノ問題ニナル。之ガ兩者ノ相違デアール。

思考ノ作用

思考ノ内容(資料)

思考ノ形式

論理學

形式的科學

思考ノ作用ニ於テハ吾々ハ其ノ内容ト其ノ形式トヲ區別スルコトガデキル。何ニ就テ思考スルカ、其ノ材料トナルモノハ思考ノ内容又ハ資料ト稱スルモノデアール。如何ニ思考スルカ、思考ノ方法ハ即チ其ノ形式デアール。論理學ハ思考ニ就テ研究スルモノデアアルガ、思考ノ材料トナルモノハ千差萬別デアツテ、無限ニ存在スルモノデアール。吾人ハ一々其ノ材料ニ係ハリテ研究スルコトハデキナイ。故ニ思考活動ノ一般的、模範的ノ形式ニ就テ其ノ規範トナルベキ法則ヲ研究スル。論理學ガ形式的科學ト稱セラルル所以ハ此處ニ在スル。人或ハ論理學ノ此ノ性質ヲ



以テ斯學ノ實際的効果ノ乏シイモノデアルコトヲ力説スル。之ハ一應理ナキニアラズデアアル。吾々ハ必ズシモ論理學ヲ學バズト雖モ、思考ノ活動ハシテ居ル。又誤ノナイ知識ヲモ獲得シテ居ル。之ハ事實デアアル。此ノ點ニ就テハ屢々人ノ例ニ引ク如ク、吾々ガ文法ノ知識ヲ有ツテ居ナクトモ文章ヲ書クコトヲ得ルト同様デアアル。シカシ吾々ハ文法ノ知識ヲ有スルコトニヨツテ、如何ナル點ニ文章上誤謬ガアルカラ發見シ、之ニヨツテ正確ニ思想ヲ發表スル助ヲ得ルト同ジ様ニ、論理學ノ知識ニヨツテ誤マレル思考ヲ正シ、正確ナ思考ヲ爲ルコトガ出來ル様ニナル。此ノ點ニ於テ論理學ノ實際的効果ハタトヒ消極的ノモノデアアルニシテモ、文法ノ效果トハ比較スルコトノ出來ナイモノガアル。ト云フノハ、文法ノ如キハ多クハ習慣上ノ約束カラ起ツテ居ルモノデアアルカラ、之ニ違ツテ居テモ思想ヲ傳フルコトノ可能ナ場合ガ少クナイガ、思考ノ場合ニ於テ論理上ノ法則ニ背イタ時ニハ、誤謬ニ陥リテ價值ノ無イ思考トナルカラデアアル。況シテ論理學ハ學問研究ノ方法ヲ考ヘ、眞理發見ノ途ヲ講ズルト云フ積極的効果ヲ有スルコトヲ念頭ニ置イテミレバ、苟クモ學術ノ研究ニ從事スル人々ニ取ツテハ、先ヅ論理學的訓練ヲ受クルノ必要ガ存在スルコトハ明瞭デアアル。

アリストテレース

演繹的論理學

ベーコン  
ミル

歸納的論理學

哲學的論理學

認識的論理學

數學的論理學

思考作用。

概念

判斷  
推理

論理學發達ノ歴史ノ上カラ之ヲ考ヘルト、先ズ希臘ノ古代ニ於テハ「アリストテレース」ノ演繹的論理學ヲ主トセルモノアリ、近代ニ於テ之ニ相對立セル「ベーコン」及ビ「ミル」ノ唱道セル歸納的論理學アリ、更ラニ又哲學的論理學アリ、認識論的論理學アリ、數學的論理學アリ、完全ナ論理學ノ系統ハ此等種々ノ論理學ヲ適當ニ按排結合シテ其ノ一切ヲ包含スル様ナモノデアアラウガ、此ノ中、數學的論理學ハ特殊ナ發達ヲ遂グベキモノデ論外デル。認識論的論理學中、認識論ニ屬スルモノハ便利上哲學ノ一部トシテ別種ノ學科ヲ爲スベキモノト見、哲學的論理學ハ特殊ナ哲學的立脚地ヲ取ルモノトシテ之ヲ除外スルトキハ、所謂論理學トシテ取扱フベキ範圍ハ自ヅカラ次ノ如ク區分セラルベキデアアル。

### 一 原理論

思考作用ヲ其ノ要素ニ分析シ、其ノ原理又ハ法則ヲ研究スルモノデ、或ハ之ヲ要素論トモ云フコトガデキル。思考作用ハ概念、判斷及ビ推理ノ三部ニ分ツコトヲ得ルガ故ニ、此等ノ各ニ就テ其ノ成立、形式又ハ種類ヲ論ジテ正シイ思考ヲ爲スニ就テ守ルベキ法則ヲ明カニスル。

### 二 方法論



思考ノ原理、法則ヲ根據トシテ其ノ實際ノ應用ヲ論ズルモノデ、學術研究ノ方法ヲ論ズル研究法論ト研究ノ結果ヲ整理統トシテ組織的ノモノト爲ス方法ヲ論ズル統整法論トヲ區別スルコトガデキル。

# 第一編 原理論

## 第一章 思考ノ原理

公理. Axiom.

自明, 原理 (直理的)

原理. Principium.

原理定義 (如何に方法)

ヲ用ヒテモ説明レ得ルヲ

根本的ノモノ (積極的)

Alles, was Gegenstand  
unser Erfahrung wird,  
befindet sich in  
einem durchgang  
begreiflichen Zusammen-  
hang.

我々ノ認識ノ対象トナルモノ  
ノモノハ完全ニ理解レ得ベキ關係  
ニ付ル。

思考ノ原理トハ思考作用ノ根本的條件トモ云フベキモノデ、論理學上思考ニ關スル一切ノ法則ニ互リテ其ノ根據トナルベキモノデアアル。若シ此ノ法則ノ存在ヲ許容シナイナラバ、吾人ハ到底思考活動ヲスルコトハデキナイ。一見極メテ平凡ノ様ニ見ユルガ、一切ノ科學ハ此ノ法則ニ基ヅイテ成立セルモノト云ベキデアアルカラ、此ノ法則ニ就テ明瞭ナ觀念ヲ有スルコトハ甚ダ緊要デアアル。思考ノ原理ハ之ヲ四ツニ區別ス。

第一 同一律 (The Law of Identity; Principium Identitatis) 之ハ「甲ハ甲デアアル」ト云ヘル形式ニヨリテ現ハサルモノデ、哲學者「ライプニッツ」始メテ之ヲ論理學上ノ公論ト見做シタ。此ノ「甲ハ甲デアアル」ト云フ形式ノ現ハセル意味ハ、先ヅ第一ニハ「彼ハ人デアアル、我モ人デアアル」ト云フ場合ニ、人ト云フ概念ハ同一デアアル。即チ彼ト我トハ異ナツテ居ルケレドモ、人タル點ニ於テハ同一デアアル。



或ハ「太郎」ハ幼時ヨリ大人ニ至ル迄、生長發達スル、即チ昨年ノ「太郎」ト今年ノ「太郎」トハ同一デナイケレドモ、「太郎」ノ「太郎」タル所、即チ其ノ本質ニ於テハ同一デアルト云フコトヲ意味スル。次ギニ之ヲ判斷ニ就テ見ルモ、其ノ主概念ト賓概念(第四章判斷ヲ参照)トハ絶對的ニ同一デハナイ、シカシ判斷ニヨリテ種々ノ差別ノ中ニ存スル統一即チ同一ガ現ハサレテ居ル。論理學者ノ中ニハ「甲ハ乙デアアル」ト云フガ如キ判斷ハ  $M \equiv N$  ト云フ方程式デ現ハスベキモノト解釋スルノデアアルガ、之ハ誤ツテ居ル。尙ホ思考ノ今一ツノ要素デアアル推理ニ就テ考フルニ、アル種ノ織物ハ褪色シ易イ、何トナレバ常ニ褪色スル染料ヲ含有スルカラデアアルト考フル場合ニハ、其ノ織物ハ種々デ全然同一デナイガ、或ル種ノ染料ヲ含有セル點ニ於テ同一デアリ、其ノ染料モ亦必ズシモ絶對的ニ同一デナイガ、其ノ褪色スルト云フ性質ニ於テ同一デアルトスルデアツテ、此等ノ性質ノ不變的デアアルカ否カガ、カカル推理ノ確實性ヲ決定スルノデアアル。是ニヨツテミレバ、吾人ノ思考ハ凡テ變化ノ中ニ不變化ヲ、雜多ノ中ニ統一ヲ、差別ノ中ニ同一ヲ認メルコトニヨツテ成立スルモノデアツテ、其ノ基ヅク所ハ畢竟、一定ノ思考ニ於テハ其ノ思考ノ對象トナルモノガ其ノ本質ヲ固執シテ變化セザルモノト

ナスコト、即チ同一律ニ存スルモノデアアル。

第二 矛盾律 (The Law of Contradiction; Principium Contradictionis) 此ノ原理

アリストテレース。

同一ノ關係ニ於テ同一ノモノガ  
同一ノモノニ同時ニ属シ且ツ  
属セザル事不可ナリ。

ハ「甲ハ非甲ニアラズ」ト云フ形式ニヨリテ現ハサル。此ノ原理ハ同一律ノ反面ヲ言ヒ表ハシテ居ルモノデ、同一律ヲ以テ肯定的思考ノ基礎トナルモノトスレバ、之ハ否定的思考ノ基礎トナルモノト見ルコトガデキル。何トナレバ、「甲ハ甲ナリ」ト云フコトハ自ツト「甲ハ甲ナラスモノニアラズ」ト云フコトヲ含ンデ居ルカラデアアル。「甲ハ甲タルト共、非甲タルコトハデキヌ」又ハ「同一ノ事物ニ就テ同一ノ事ヲ肯定スルト共、否定スルコトハデキヌ」ト云ツテモ同ジ意味デアアル。共ニト云フハ同一ノ場所又ハ同一ノ時間ニ於テノ意味デアアル。例ヘバ書物ハ開カレタル後、之ヲ閉ヅルコトハデキルガ、同時ニ開カレ且ツ閉ヂラレテ居ルト云フコトハナイ。一枚ノ紙ノ表面ハ白クシテ裏面ガ黒イトカ、表面デモ一方ハ白クシテ他方ハ黒イト云フコトハアリ得ルガ、紙ノ同ジ處ガ白クシテ然カモ黒イト云フコトハアリ得ナイ。若シ此等ノ事ガ存在シ得ルモノトスルトキハ、吾々ノ思想ハ矛盾ニ陥リテ誤謬タルコトヲ免レナイ。

第三 排中律 (The Law of Excluded Middle; Principium Exclusionis Tertii) 或ハ



又不容間位律トモ稱ス。「甲ハ乙ナルカ、若クハ乙ナラザルモノ(非乙)ナルカナリ」ト云フ形式デ現ハスコトガ出來ル。例ヘバ、人ハ學者カ又ハ學者ナラヌモノデアアル、線ハ直線カ又ハ直線ナラヌモノデアアル。即チ吾々ハ同一ノ事物ニ就テハ同一ノ事ヲ肯定スルカ又ハ否定スルカデアツテ、其ノ間ニ第三者ヲ容ルル餘地ガナイト云フコトヲ言ヒ現ハスノガ此ノ法則デアアル。但シ人ハ賢者カ愚者デアアルト云フガ如キ場合ニハ賢者デモナケレバ愚者デモ無い、孰レトモツカヌ第三者ヲ容ルル餘地ガアルト見ラレルデアラウ。然シ此ノ場合ノ愚者ト賢者トハ乙ト乙ナラヌモノトノ關係ト見ルコトハデキヌ。蓋シ排中律ハ賢者ト賢者ニアラザル者トノ間ニ第三者ノ存在ヲ排斥スルノデアツテ、賢者ニアラザルモノガ直チニ愚者トハ云ヒ得ナイカラデアアル。(尙ホ此ノ點ニ就テハ第五章對當關係ニヨル直接推理ヲ參照。)

論理學者ノ中ニハ以上三ツノ原則ニ就テ其ノ原理トシテノ價值ヲ同一視シナイ人ガアル。即チ或ル人ハ矛盾律、或ル人ハ同一律ヲ此等ノ原理ノ中ニ於テ根本的ナ位置ヲ占ムルモノトシテ、其ノ他ノ二原理ハ之カラ派生シ來レルモノト考ヘル。以上ノ三原理ハ無論相互ニ關聯セルモノデアアルガ、然シ其ノ價值ハ同一ノモノデ、孰レカガ根本的デアアルト云フコトハ云ハナイ。寧ロ同一ノ原理ヲ異ナツタ方面カラ觀察シタモノト見ルノガ適當デアラウ。

第四 充足理由ノ原理 (The Law of Sufficient Reason; Principium Rationis Sufficientis) 此ノ原理ハ「ライブニツ」ガ始メテ唱へ出シタモノデ、一切ノ存在セルモノハ夫々充分ナ理由ガアツテ存在シテ居ルト云フコトヲ言ヒ現ハシタモノデアアル。然シナガラ思考ノ原理トシテハ、吾々ノ思考ガ必ず常ニ充分ナ理由ヲ伴ハナケレバナラヌト云フコトヲ要求スルモノデアアル。即チ吾々ノ思考ハ常ニ相當ノ論理的根據ガアツテ行ハレテ居ルモノデ、其ノ根據カラ一定ノ歸結ガ生ジ、其ノ歸結ガ根據トナツテ更ラニ又他ノ歸結ガ生ズルト云ツタ様ニ、理論的關聯ヲ有ツテ居ルノデ始メテ正確ナ思考トナリ得ルノデアアル。吾人が推理ノ作用ニヨリテ既知ノ知識ヨリ未知ノ知識ヲ導キ出スハ此ノ法則ノ存在スルガタメデアアル。

「カント」ハ認識ノ根據 Erkenntnisgrund ト實在ノ根據 Realgrund トヲ區別シテ居ルガ、所謂認識ノ根據ハ此處ニ云フ理由ニ相當シ、實在ノ根據ハ即チ原因ニ相當スル。此ノ如ク理由ト歸結トノ關係ハ吾々ノ思考ノ關聯ニ關スルモノデアアリ、原因ト結果トノ關係ハ事件ノ關聯ニ關スルモノデアアルガ、然シ思考上ニ於ケル充足理由ノ原理ト因果律トハ密接ニ關聯シテ居ルモノデ、因果律ハ充足理由ノ原理カラ導キ出サレタ一種ノ認識原理デアツテ、充足理由ノ原理ヲ吾々ノ經驗内容ニ應用シタモノガ因果律ト見ルベキデアアル。

認識ノ根據

實在ノ根據



## 第二章 思考ノ本質

思考作用ノ形式ヲ分ツテ概念 Concept、判斷 Judgement 及推理 Inference ノ三ツトスルノガ普通デアル。シカシ此ノ三ツノ中デ、最モ根本的ナモノハ判斷ノ作用デアル。判斷ハ思考作用ノ本質ヲ爲スモノデアルト云ツテ差支ナイ。

前章ニ於テ直觀ト思考トヲ比較シテ其ノ差異ヲ説明シタガ、一タビ直觀ノ作用カラ思考ノ作用ニ移ルト必ズ一種ノ判斷トナルノデアル。外界カラノ刺激ニヨリ、若クハ記憶想像ニヨリテ直觀ノ内容ガ與ヘラレタトスル。然ル時ニ其ノ内容其ノモノハ何等ノ意義ヲ有ツテ居ルモノデハナイ。

判斷ノ作用ハ吾々ノ意識内容ニ意味ヲ與ヘラルルモノデ、其ノ意味ガ與ヘラルル所ニ思考ノ活動ハ存在スル。而シテ此ノ意味ハ如何ニシテ生ズルカト云ヘバ、畢竟前章ニ述ベタ反省ノ作用ガ加ハルカラテアルト云ツテ差支ナイ。即チ吾々ハ現在受取ル所ノ印象ニ過去ノ經驗ヲ結合シテ之ヲ解釋スル所カラ、意味ガ生ズルノデアル。吾人ガ未ダ一度モ經驗シナイモノニ對シテハ奇異ノ感ヲ抱クガ、之ハ解釋スル所以チ知ラナイカラ起ルノデアル。從ツテ意味ナルモノハ同一ノ事物ニ接シテモ、此等ノ事

物ニ關シテ吾々が過去ノ經驗ニヨツテ所有セル知識ノ多少及ビ性質ニヨツテ異ナル譯デアル。心理學者ハ何等カノ印象ニ接シタ時、其ノ現在ノ經驗ト過去ノ經驗トヲ結合シテ一定ノ意義アルモノトシテ之ヲ經驗スル作用ヲ類化ノ作用又ハ統覺ノ作用ト稱シテ居ル。カクノ如ク考ヘ來レバ、判斷作用ハ思考作用ノ本質トモ云フベキモノデ、判斷即チ思考ノ作用ニヨツテ、吾々ハ知識ヲ獲得スルコトガデキルト云フコトハ明白デアル。唯直觀シタダケデハ未ダ知識ニハナラナイ。從ツテ直觀ニ現ハレタモノ

### ○普遍妥當性

何人モ眞理ヲ承認スルコト。

### ○必然性

カク考ヘテハ停チテト云フ點。

主觀。知覺し思考し感動せんモノ。或。

④自己ノ意中ノ一切。

客觀。主觀ニ對シテ目的物トシテモノ即チ

知覺しし思考せし感動せらるモノ。

④外界ノ一切。

ニ就テハ其ノ眞偽ヲ云フコトハデキナイガ、一定ノ判斷ヲ下スニ及ベバ自然其ノ眞偽ノ區別ガ生ズル。例ヘバ、暗中白衣ノ干シテアルノヲ見テ幽靈ダト判斷スル時ニハ吾々ハ之ヲ誤ツタ判斷ダトスル。

判斷作用ニヨツテ吾々ハ知識ヲ獲得スルモノデアルガ、既ニ知識デアル以上ハ、單ニ主觀的、個人的ノモノデハナクシテ、何人ニモ共通ナ普遍的ナモノト云フ信念ガ伴フテ居ル。例ヘバ、地球ハ圓イト云フ判斷ニ就テ云ヘバ、之ハ判斷ヲ下ス人ニ取リテ事實デアルノミナラズ、何人モ承認スベキ眞理ダトサレルノデアツテ、之ヲ判斷ノ普遍性又ハ普遍妥當性ト云フコトガデキル。判斷ヲ下スノハ個人々々デアルカラ、其ノ點カラ云ヘバ主觀的デアルガ、人トシテシカク考ヘザルヲ得ナイモノガアルト云フ上ヨリ云ヘバ、普遍的デアル。判斷ヲ下スニ當リテハ甲ノ判斷ヲシテモヨケレバ、乙ノ判斷ヲシテモヨイト云フ様ニ撰擇ノ餘裕ハナクシテ、人間トシテハ必ズ考ヘナケレバナラナイモノガアル。時ノ是非共シカク考ヘザルヲ得ナイト云フ點ヲ判斷ノ必然性ト呼ブコトガデキル。判斷ガ普遍妥當的デ且ツ必然的デアルカ否カハ即チ其ノ知識トシテ眞偽ノ分ルル處デアツテ、論理學ノ研究スル所ハ主トシテ判斷ノ此ノ方面ニ就テデアル。而シテ判斷ノ此ノ如キ性質ガ證明セラルルタメニハ、吾々ハ一個ノ判斷ヲ孤立的ニ見ズシテ、之ヲ他ノ判斷ト關聯セシメテ、判斷ノ依リテ立ツ根據即チ其ノ理由ヲ求メ出サネバナラ



既知判断ヨリ

(1) 他ノ判断ノ確實証明。

(2) 未知ノ判断ヲ導キ出ス。

ス。換言スレバ判断ハ推理ニ移ラネバナラヌ。**推理**トハ畢竟スルニ既知ノ判断ヲ基礎(理由又ハ根據)トシテ他ノ判断ノ確實ナルコトヲ證明スルカ、又ハ未知ノ判断ヲ導キ出スモノデアル。

表象ヲ判断シテ原子概念ヲ得ル。(直観ヲ判断シテ是者ニシテ此ノ原子概念ヨリ高尚ノ概念ヲ得ルナリ。

一原子概念

普通、判断ハ二ツノ概念ヲ結合シテ出来ルモノト解釋サレル。例ヘバ、「ダイヤモンド」ハ寶石デア  
ルト云フ判断ニ就テ云ヘバ、之ハ「ダイヤモンド」ノ概念ト寶石ノ概念トヲ結合シテ其ノ關係ヲ示ス  
モノデアルト云フ。従ツテ概念ハ判断ニ先ダツモノデアアル。概念生ジテ後始メテ判断ノ作用ハアル。  
概念ノ出来ナイ間ハ判断モ亦ナイト云フ説ガアル。然シ之ハ誤デアアル。第一、「ダイヤモンド」又ハ  
寶石ト云フ概念ハ如何ニシテ發生シタカト考フレバ、種々ナ判断ノ結果トシテ出来タルモノデアアル事  
ガ分ル。即チ「ダイヤモンド」ノ概念ニ就テ云ヘバ、之ハ「ダイヤモンド」ト他ノ礦物、殊ニ「ダイ  
ヤモンド」ニ類似シテ居ル礦物トノ區別ガ明瞭ニナリ、其ノ有ツテ居ル屬性ガ明カニナツタ後ニ生ズ  
ルモノデアアル。即チ「ダイヤモンド」ハ燦爛タル光輝ヲ放ツ礦物デアアル。非常ニ高價ナモノデアアル等  
ノ判断ヲ下シ得テ始メテ「ダイヤモンド」ト云ラ概念モ出来ルノデアアル。吾々が或ル概念ヲ有ツテ居  
ルト云コトハ畢竟其ノ概念ノ總括シテ居ルモノニ就テ種々ノ判断ヲ下シ得ルコトヲ意味シテ居ルノデ  
アル。蓋シ概念ハ種々ノ判断ヲ簡單ニ代表スルモノデアアツテ、殊ニ概念ガ言語ニヨリテ發表サレタ場  
合ニ然リデアアル。

判断ノ作用ニハ二ツノ方面ガアル。一ツハ**分析**ノ方面、一ツハ**綜合**ノ方面デア  
ル。判断ヲ概念ノ結合デアルト解釋スル見解ハ寧ロ其ノ**綜合**ノ方面ノミヲ見テ分  
析ノ方面ヲ閑却シテ居ルト云フコトガ出来ル。例ヘバ、雪ハ白イト云フ判断ニ就

テ云ヘバ、此ノ判断ガ判断者ニ對シテ意義ヲ有スル限リニ於テハ、雪ト云フ概念  
ノ中ニ漠然ト含マレテ居ル白イト云フ性質ヲ取り出シテ明瞭ニシタモノト見ネバ  
ナラヌ。總ジテ吾々ノ知識ノ發達ハ分析作用ノ發達デアアルト見ルコトモデキル。  
即チ單ニ漠然ト經驗シテ居ルモノヲ取りテ、之ト他種類ノ經驗トヲ比較シテ其ノ  
同一ノ點、差異ノ點ヲ明瞭ニ認識シ、複雑ナモノヲ其ノ部公又ハ要素ニ分析シテ  
考フル様ニナルコトガ知識ノ發達デアアルト云ヘル。幼兒ノ經驗ニ於テハ充分ニ事  
物ノ異同又ハ組織ガ分析的ニ考ヘラレテ居ナイ。従ツテ混同スベカラザルモノヲ  
混同シ、大切ナ要素ヲモ看過シテ居ルト云フ事ハ屢々吾々ノ注意ヲ惹ク事實デア  
ル。又例ヘバ「犬ガ走リツツアル」ト云フガ如キ判断ヲ取ツテ見レバ、此ノ點ハ  
比較的明瞭ニ理解サレル、吾々ノ直接經驗スル所ノモノハ「走リツツアル犬」デア  
ル。犬ト走ルト云フ動作トヲ別々ニシテ經驗シテ居ルノデハナイ。然ルニ其ノ經  
驗内容ノ中カラ。特ニ走ルト云フ動作ヲ抽出シテ來ル所ニ「犬ガ走リツツアル」  
ト云フ判断ガ成立スルノデアアル。

然シナガラ、判断作用ニ於テハ同時ニ又綜合ノ作用ガ含マレテ居ルコトヲ看過  
スルコトハデキヌ。「雪ハ白イ」ト云フ判断ヲスル場合ニハ、白イト云フコトハ



雪ノ一ツノ性質デアツテ、其ノ他ノ性質、例へバ冷イト云フガ如キ性質ト共在シテ所謂「雪」トナツテ居ルト考ヘル。吾々ハ單ニ白イト云フ性質ヲ抽キ出シタダケニハ止マラナイ。之ヲ全體ノ一部分又ハ一方面ト考ヘルノデアツテ、此處ニ其ノ綜合的性質ガ存スル。

此ノ如ク判断ニ分析的性質ト綜合的性質トノ兩方面ガアルガ、之ハ分析ガ先ヅ行ハレテ然ル後綜合ガ之ニ繼グト云フ様ナ機械的關係ニナツテ居ルノデハナイノデアツテ、要スルニ、分析ノ反面ニハ綜合ガ存在シテ居ル、一面ニ於テ分析ガ行ハレルコトガ即チ他面ニ於テ綜合ニナツテ居ルト云フ意デアアル。

判断ノ言語ニヨリテ言ヒ現ハサレタモノハ之ヲ命題 Proposition ト云フ。命題トシテ判断ヲ取扱フトキハ概念ノ結合ト見做スコトハ實際上ニ便利デアアル。又論理的ノ複雑ナ思考ニ用ヒラルル判断ハ、主トシテ吾人が既有ノ概念ノ分折又ハ綜合ニ基ツクモノデ、概念ヲ豫想シタ判断ト見ルベキモノデアアルカラ、吾々ハ思考ノ根本的形式デアアルト否トニ係ハラズシテ、先ヅ概念ヨリ説明ヲ始メヨウ。

### 第三章 概 念

#### 一 概 念

概象。

心理學上表象 Vorstellung (又ハ觀念 Idea) ト概念トヲ區別スル。知覺、記憶、又ハ想像ニ現ハルルモノハ表象デアツテ、表象ハ個體的ノモノデアアル。例へバ記憶ニヨリテアル特別ノ人ヲ想ヒ浮べ、又ハアル特別ナ家ヲ想像スルノ類ハ表象デアアル。然ルニカカル特殊ナ人、特別ナ家ヲ離レテ一般ニ人間又ハ家屋ナルモノヲ考フルトキハ之ヲ概念ト云フ。要スルニ概念ナルモノハ思考活動ノ經濟カラ起ツタモノデ、一々特殊ナモノヲ考フル代リニ、概念ニヨツテ之ヲ包括的ニ考フル事ガデキ、又概念ニヨツテ全體ヲ代表サセルコトガデキル様ニナルノデアアル。單ニ表象又ハ觀念ノミニヨル知識ハ聯絡ノナイ離レトノモノデ甚ダ不完全ナ知識、言ハバ知識ノ未成品デアアル。之ヲ聯絡アル統一的ノモノトシテ完全ナ知識ト爲スモノガ即チ概念作用デアリ、其ノ結果ガ即チ概念デアアル。



## 二 概念ノ構成

概念ハ如何ニシテ作ラルルカト云フニ、概念ハ要スルニ判断ノ結果トシテ生ズルモノデアル。否、概念バカリデナク、知覺ノ結果トシテ生ズル表象其ノモノノ働キニモ既ニ判断ノ作用ガ含まレテ居ルコトハ既ニ前章ニ於テ之ヲ論ジタ。而シテ其ノ判断ノ出來上ツタ上カラ之ヲ云ヘバ、概念ハ判断ノ要素トナルモノデア  
ル。

概念形成ニ要スル判断ハ特ニ之ヲ原始的判断ト呼ブコトガアル。カカル判断ハ如何ナル種類ノモノデアアルカト云ヘバ、諸種ノ表象ニ就テ其ノ異同ヲ比較シ、辨別スル判断デアアル。普通吾々が屢々同一ノ經驗ニ遭過スルトキハ、自然其ノ類似ノ點ニ注意スル、否、注意セザルヲ得ナイ。尤モ普通人ノ發見シ得ザルガ如キ類似ノ點ヲ見出スハ天才ノ事業デアアルガ、單ニ漠然類似ノ點ヲ認ムルノハ何人モ爲シ得ルコトデ、此ノ如クシテ得ラルルモノハ所謂經驗的概念デアアル。意識の二分折、綜合ヲ爲ス時、始メテ論理的又ハ科學的概念ヲ得ル。其ノ一々異ナツテ居ル點ハ之ヲ看過シテ凡テニ共通ナ點ニ注意スルコトヲ抽象ノ作用 Abstraction ト稱

原子的判断。

○經驗的概念。

○論理的科學的概念。

○本質的屬性：抽象

○個體的屬性：捨象。

○名辭  
概念カ言語ヲ言ヒ表ササ時。

スル。抽象ハ抽キ出ス、抽キ離ス義ニシテ、共通ナ點ノミニ注意ヲ向クレバ多數ノ表象ニ就テ其ノ點ダケガ抽キ離サル譯デアアル。其ノ抽象サレル性質ハ概念ノ必要缺クベカラザル性質デアアルカラ之ヲ本質的屬性ト云フ。然ルニ其ノ看過サレルモノハ(捨象)特殊ノ個體ニノミ限ラレタ性質デ、概念トシテハ偶然ニ附ケ加ヘラレタ性質ト見ルベキヲ以テ、個體的屬性、又ハ偶有的屬性トモ云フ。

此ノ概念ガ言語ニ上ツテ言ヒ現ハサレタトキハ論理學上所謂名辭 Term トナル。而シテ概念ガ之ヲ言ヒ現ハスベキ言語ヲ待ツテ始メテ明瞭且ツ完全ニナルコトハ明カデアアル。言語ハ獨リ吾人ノ思想ヲ他人ニ傳フル媒介者トシテ必要ナバカリデナク、吾々自身ガ思考ヲスルニ缺クベカラザルモノデアアル。故ニ實際ニ於テハ殆ド言語ヲ離レテ概念ヲ考フル事ガデキナイ有様ニナツテ居ル。之ヲ要スルニ概念ハ表象カラ(一)比較(二)抽象(三)總括(四)命名ノ過程ヲ經テ完成サレルノデアアル。概念ト概念トガ比較サレタ場合ニハ同一ノ過程ニヨツテ更ラニ一層抽象的ノ概念ガ出來ルノデアアル。

概念ハ表象中ノ普遍的要素ヲ抽象シタモノトシテ、不變的、固定的性質ノモノト見做サレテ居ル。蓋シカカル不變的、固定的ノモノヲ許サナケレバ、思考活動ハ行ハレ難イカラデアアル。然シ其ノ不變的デアアリ、固定的デアアルノハ比較的デアアツテ、概念ガ思考活動ノ一要素タル限り、矢張り流動的ノモ



ノテ、一個ノ生命アルモノデアアルコトヲ忘レテハナラヌ、即チ概念ガ吾人ニ對シテ潑刺タル意義ヲ有スルモノトシテ使用セラルル限リハ、同一名辭ニヨリテ現ハサレタル概念モ、吾人ノ實際的要求ニ促サレテ、絶エズ變化スルモノデアツテ、或ハ其ノ誤レル點ガ訂正セラレ、其ノ不充分ナ點ガ補足サレツツ、改造ト發展ガ行ハルルモノデアアル。此ノ點ハ自然科學上ノ概念、例ヘバ電氣トカ、物質トカ云ヘル概念ニ就テ考フレバ會得スルコトハ容易デアアル。流動的デアアルノハ事實デアツテ、之ヲ固定的、不變的ノモノト見做ス所ニ論理的思考ガ存在スルノデアアル。

### 三 概念ノ内包ト外延

概念ハ其ノ内包 (Intension; Connotation) ト外延 (Extension; Denotation) ト稱スルニツノ方面ヲ有ツテ居ル。概念ハ前述セル如ク、諸種ノ表象 (又ハ概念) ニ共通ナ性質ヲ抽象シテ作ラレルモノデアアルカラ、一方ニ於テハコレ等ノ表象 (又ハ概念) ニ共通ナ本質的性質ヲ意味スルト共ニ、他方ニ於テハ此等ノ性質ヲ具有セル數多ノ表象 (又ハ概念) ヲ代表シ、若クハ包括スルモノデアアル。概念ノ外延トハ、概念ニヨツテ代表サレ、若クハ包括サレテ居ル表象 (又ハ概念) ヲ云ヒ、内包トハ概念ノ意味シテ居ル共通的、本質的ノ性質ヲ云フ。故ニ簡單ニ云ヘバ、内包ハ或ハ之ヲ概念ノ意味又ハ含蓄ト云フベク、外延ハ概念ノ適用セラルル範圍

トモ見ルコトガドキル。例ヘバ櫻ノ概念ニ就テ云ヘバ、其ノ包内ハ櫻樹ノ一般ニ有ツテ居ル花、葉、幹、果實等ノ性質デアツテ、其ノ外延ハ山櫻、吉野櫻、絲櫻、彼岸櫻等ノ櫻ノアラユル種類ヲ指スコトニナル。

内包ト外延トノ間ニハ密接ノ關係ガアル。論理學者ハ此ノ關係ヲ言ヒ現ハシテ「概念ノ内包ト外延トハ反對ノ方向ニ増減ス」ト云フ。例ヘバ、動物ト云フ概念ノ内包ニ脊椎ヲ有ツテ居ルト云フ性質ガ加ハリテ有脊椎動物トナレバ其ノ外延ハ著ルシク減少スル。更ラニ哺乳スルト云フ性質ガ加ハリテ哺乳動物トナレバ、其ノ外延ハ一層減少スル。之ト反對ニ概念ノ外延増加スルトキハ其ノ内包ハ減少スル。凡テ包括スル概念ノ包括サレタル概念ニ對スル關係ヲ高級 (上位トモ云ヒ) Superordination ノ關係ト云ヒ、其ノ概念ヲ高級概念 (上位概念) Superordinate concept ト云フ。包括サレタ概念ノ包括スル概念ニ對スル關係ヲ低級 (下位) Subordination ノ關係ト云ヒ、其ノ概念ヲ低級概念 (下位概念) Subordinate concept ト云フ。高級ノ概念ハ或ハ又類概念 Genus, 低級ノ概念ハ種概念 Species トモ稱スル。一ツノ類概念中ニ包括サル種概念ハソノ關係ヲ等級 (同位) Coordination ノ關係ト云ヒ、其ノ概念ヲ等級概念 (同位概念) Coordinate concept ト云フ。等

外延ノ大ナル方ヲ

◎ 高級概念

◎ 上位概念

類概念

外延ノ小ナル方ヲ

◎ 低級概念

◎ 下位概念

種概念

◎ 等級概念

◎ 同位概念



級概念ノ或ルモノニ特有ナ屬性デ、等級概念相互ヲ區別スル標準トナルモノヲ種差 Specific difference ト呼ブ。カカル用語ニ從ツテ、試ミニ前述ノ類概念ト種概念トノ内包上ノ關係ヲ式ニ現ハシテミレバ次ノ如クニナル。

種概念ノ内包ニ類概念ノ内包ト種差

以上ニ述ベタ概念ノ内包及ビ外延ハ明瞭ニ一定セルガ如ク見做シタガ、必ズシモ一定シテ居ルモノデハナイ。人々ノ知識及ビ經驗ノ深淺多少ニヨツテ異ナツテ居ルコトハ言フ迄モナイ。例ヘバ櫻下云フ概念ニシテモ普通人ノ有ツテ居ルモノト、植物學者ノ有ツテ居ルモノトハ、其ノ内包ニ於テモ外延ニ於テモ決シテ同一デハ無イ。況シテ文學ト云フ様ナ概念ニナツテ來レバ、學者ノ間ニスラモ其ノ内包ニ於テ、其ノ外延ニ於テ異論アルコトヲ免レナイ。吾々ノ有ツテ居ル概念ノ中ニハ其ノ内包ガ果シテ如何ナルモノデアアルカ、明瞭ニ意識シテ居ナイモノハ頗ル多イ。外延ニ於テモ或ハ當然其ノ中ニ包括サルベキモノヲ除外シ、包括スベカラザルモノヲ同ジ名ノ概念デ呼ンデ居ルモノハ少クナイ。時代ノ異ナルニ從ツテ概念ノ意義ノ變化スル事ハ尙ホ一層明瞭デアツテ、或ルモノハ其ノ外延ガ増加シ、或ルモノハ却ツテ縮小スル。例ヘバ教育ト云フ概念ハ、昔ハ先生對弟子ノ關係ニ存シタモノデアツタガ、今日デハ「社會的教育」ト云フガ如キ言葉モ使用セラルル様ニナツタ。之ト反對ニ「哲學」ト云フ概念ハ現今其ノ範圍ヲ縮小シツアルト見ルコトガデキル。即チ古代希臘ニ於テハ哲學ト科學トハ區別サレテ居ナカッタガ、近世ノ初メカラ特殊科學ガ漸次哲學カラ分離スル様ニナリ、哲學ハ即チ所謂形而上學又ハ認識論ノミヲ指スコトニ爲ツテ居ル。

總ジテ概念ノ内包ヲ増加スルコトニヨリテ其ノ意味ノ精密トナリ、從ツテ其ノ外延ノ縮小スルニ至ルコトヲ限定 Determination ト名ヅケ、反對ニ概念ノ外延ヲ増加スルコトニヨリテ其ノ適用ノ範圍ヲ擴大シ、從ツテ其ノ内容ノ減少スルニ至ルコトヲ概括 Generalization ト名ヅクルノデアアル。

論理學上ニ於テハ判明 Distinct ナ概念ト明晰 Clear ナ概念トヲ區別シテ居ル。

明晰ナ概念ト云フノハ他ノ概念トノ區別ガ明瞭ニナツテ居テ混同サレル虞レガナイモノヲ云ヒ、判明ナ概念トハ其ノ概念ノ内容ヲ形造ツテ居ル要素ノ性質ガ精密ニ認識サレテ居ルモノヲ云フノデアアル。然シ明晰ナ概念ガ必スシモ直チニ判明ナ概念デハナイ。吾々ハ全體トシテハ他ト區別スルコトヲ知ツテ居テモ、其ノ概念ヲ形成セル要素ニ就テハ詳細ニ之ヲ云フコトノデキナイ場合ハ屢々アル。明晰デナイ概念ハ之ヲ不明 Obscure ナ概念ト云ヒ、判明デナイ概念ハ之ヲ亂雜ナ Confused

概念ト云フ。幾何學上ノ圖形、例ヘバ三角形、四角形ノ如キハ甚ダ判明ナ概念デアアルガ、精神科學上ノ概念、例ヘバ表象トカ意識トカニナレバ判明ナ概念ヲ有スルコトハ容易デナイ。

△他概念ト區別カ明瞭カ否カ

○明晰ナ概念 Clear

○不明ナ概念 Obscure

△性質ガ精密ニ認識サレカ否カ

○判明ナ概念 Distinct

○亂雜ナ概念 Confused



### 四 概念ノ種類

概念ハ之ヲ異ナツタ立脚地カラ種々ニ分類スルコトガデキル。

一 先ヅ概念發生ノ起源ニヨリテ之ヲ分テバ、純粹概念、Pure concepts (Reine Begriffe) 又ハ範疇 Categories (Kategorien) ト經驗的概念 Empirical concepts ト

ヲ區別スルコトガデキル。純粹概念トハ先天的ニ具ハツテ居ルモノデ、最高上位概念ニシテ經驗ニヨリテ得ラレタモノデナイ概念ヲ云フ。「カント」ハ判斷ノ形式ニ基ヅイテ有名ナ十二ノ範疇ヲ立テタノデアアルガ此ノ節疇ハ「カント」ニヨレバ、悟性ガ先天的ニ自己ノ中ニ有ツテ居ル純粹概念ガアツテ、之アルガタメニ吾人ノ經驗ガ可能トナル。故ニ此ノ意味デハ純粹概念ハ即チ最高ノ類概念デアツテ、思考ノ根本的形式デアリ、從ツテ又經驗カラ來ル材料ヲ統一スル形式デアルト見ラレル。例ヘバ、實體、時間、空間、質、量、狀態、樣式等ノ如キモノデアアル。之ニ反シテ經驗的概念ハ經驗的ニ抽象シテ得ラレタモノデアツテ、普通ノ概念、即チ人トカ、動物トカ云フガ如キモノデアアル。

「カント」ノ範疇ハ次ノ十二デアアル。

- (一) 量 Quantitat. 單一性 Einheit. 數多性 Vielheit. 全體性 Allheit.
- (二) 質 Qualitat. 實在性 Realität. 否定 Negation. 制限 Limitation.
- (三) 關係 Relation. 實體性及偶性 Substantialität und Inhärenz. 原因及結果 Kausalität und Dependenz. 相互作用 Gemeinschaft und Wechselwirkung.
- (四) 樣式 Modalität. 可能—不可能 Möglichkeit—Unmöglichkeit. 存在—非有 Dasein—Nichtsein. 必然—偶然 Notwendigkeit—Zufälligkeit.

二 論理學者ハ概念ヲ其ノ内容ノ性質ニヨツテ抽象的概念 Abstract concept ト具體的概念 Concrete concept トニ別ツコトガ出來ル。一切ノ概念ハ其ノ本來ノ構成上カラ云ヘバ抽象的ノモノデアアル。然ルニ斯様ナ區別ヲ爲スコトハ畢竟便宜的デアツテ、且ツ場合ニヨツテ其ノ意義ヲ異ニシテ居ルタメニ多少ノ曖昧ヲ免レナイノデアアル。

普通ニ論理學者ガ抽象的又ハ具體的概念ト稱スル區別ヲ見ルニ、次ノ如キ三種ノ意義ガアル様デアアル。第一ノ意義デハ、具體的概念トハ事物ニ關スル概念デアツテ、人、机、花、鳥ノ如キモノデアアル。抽象的概念トハ事物ノ關係、性質、狀態、活動等ニ關スルモノデ、勇氣、正義、長短ノ如キモノデアアル。此ノ區別ハ中世ノ「スコラ」哲學者ガ好シテ用ヒタ所デ、今日ニ於テモ屢々用ヒラルル區別デアアル。此ノ意味デハ抽象概念ハ判斷ノ實概念カラ生ジタモノ、所謂屬性概念ニ相當シ、具體概念ハ判斷ノ主概念カラ生ジタモノ、所謂事物概念又ハ對象概念ニ相當スル。

第二ノ意義ニヨレバ、吾々が直接ニ表象トシテ知覺シ、又ハ想像スルコトノデキルモノ、換言スレ

概念發生ノ起源ヲ分テ

○純粹概念

範疇

○經驗的概念

カントノ十二範疇

概念内容ノ性質ニヨリ

抽象的概念

具體的概念

(一) 抽象的概念

事物關係ノ性質

狀態ノ活動

具體的概念

事物



(二) 具體的概念。★  
抽象的概念。▽

(三) 抽象的概念。◎  
具體的概念。△

★バ、實際ニ存在スル事物ニ依ツテ其ノ概念ヲ代表セシメ得ルガ如キモノヲ具體的概念トシ、吾々ノ直接ニ表象トシテ意識スルコトノデキナイモノヲ抽象的概念トスル。例ヘバ、机トカ、人トカ云フ概念ハ或ル特別ナ机又ハ特別ナ人ヲ以テ之ヲ代表セシメ得ルガ、勇氣トカ正義トカ云フ抽象概念ニナレバ、如何ナル事物ヲ以テモ直チニ之ヲ表象スルコトガデキナイト云フノデアアル。シカシ此ノ意義ニヨル區別ハ畢竟程度ノ區別デアツテ、嚴密ナ限界ヲ設クルコトハ不可能デアアル。

第三ノ意義ニヨレバ、◎元來全體トシテ存在スベキ部分ガ特ニ抽キ離サレテ考ヘラレタモノガ抽象的デ、其等ノ各部分ヲ綜號シテ統一のニ考ヘタモノガ具體的デアルト見ル。人間ト云ヘバ、種々ノ性質ノ綜合サレテ出來テ居ル全體ノ指スモノヲ具體的概念デアルガ、正義トカ、自由トカハ或ル特別ノ性質ダケヲ抽象シ來ツタモノデ、抽象的概念デアアル。同一ノ意味デ「高イ塔」ト云ヘバ具體概念デアアルガ、「高サ」ハ抽象的概念デアアル。シカシ、吾々が直接ニ知覺スル場合ニハ、寧ろ單ニ個々ノモノヲ夫々獨立セル個體トシテ知覺シ、之ヲ他ノモノト關聯セシムルコトヲシナイ。各部分ノ關係ヲ認メテ之ヲ全體ニ綜合シ、或ハ個々ノモノ相互ノ間ニ存スル關係ヲ發見シ、一定ノ原理又ハ法則ニ依リテ全體ヲ統一スルハ寧ろ思考ノ作用デアアル。故ニ第三ノ意味カラ云ヘバ、所謂抽象的ノ概念ハ各種ノ個體ニ共通ナ性質ヲ認メテ、此等ヲ一ツニ統一スル所カラ見テ、却ツテ具體的性質ヲ帶アル者トナリ、從ツテ科學的知識ハ感官ニヨル知覺的事實ヨリモ具體的デアツテ、最モ抽象的概念ヲ取扱フモノト第一、第二ノ意義ニヨリテ解セラルル哲學ノ如キハ、自然科學ニ比較シテ却ツテ具體的性質ヲ有スルモノトモ爲ルベキデアアル。

外延  
單獨概念。  
一般概念。

三 概念ノ内包又ハ外延ノ多少ニヨルトキハ、單獨概念 Individual or singular concept ト一般概念 General concept 單純概念 Simple concept ト複合概念 Complex concept

内包

單純概念。  
複合概念。

concept トヲ區別スルコトガデキル。單獨概念ハ特別ナ個體ヲ指示スルモノデ其ノ外延ハ最小ノ極限ニ達シタモノ、之ヲ言語ニ言ヒ現ハセル時ニハ普通固有有名詞ニ屬スルモノデアアル。

然シ單獨概念ハ必ズシモ固有有名詞ニ限ラナイ。凡テ單一ナ個體ヲ現ハスモノ、例ヘバ「日本」最モ人口稠密ナ都會「大正四年十一月召集サレタ帝國議會」「此ノ軍艦」ノ如キモ單獨概念デアアル。之ニ反シテ山、川、草、木ノ如キハ種々ノ個體ヲ言ヒ現ハセル概念デ、一般概念デアアル。

單純概念ト云フノハ概念ノ内包ガ最小ノ極限ニ達シタモノデ、モハヤ之ヲ分架スルコトノデキナイモノ、例ヘバ、存在、性質ノ如キ概念デアアル。之ニ反シテ種々ノ屬性ガ相集マツテ居ルモノ、即チ「動物」「人」ノ如キ大多數ノ概念ハ複合概念ニ屬スル。

集合概念。◎  
個別概念。△

四 一般概念ハ普通、其ノ包括スル個體ノ各々ニ適用シ得ルモノデアアル。例ヘバ兵卒ト云フ概念ハ一人々々ノ兵卒ニ適用シ得ルモノデアアル。然ルニ聯隊トカ、艦隊トカ云フ概念ニナレバ、◎全體ヲ總括シテ始メテ意味ヲ有スルモノデアツテ、吾人ハ此ノ如キ概念ヲ特ニ集合的、Collective concept ト呼ビ、普通ノ一般概念即チ人、馬、机、兵卒ノ如キハ之ヲ個別概念 Distributive concept ト稱スル。但シ同一ノ集合的概念モ場合リヨツテハ、一般概念トシテ取扱ハネバナラヌコトヲ忘レテハナラヌ、



例へバ、聯隊ト云フ概念ハ之ヲ組織セル一人一人ノ兵士ニ關シテハ集合的概念デアアルガ、第一聯隊、第二聯隊ト稱スル場合ノ如ク、他ノ同シ兵士ノ團體ト區別スル時ニハ個別概念デアアル。「圖書館」ハ之ヲ組織セル書籍ニ關シテハ集合的デアアルガ、官立、公立、私立等ノ種々ノ圖書館ニ關シテハ個別的デアアル。

〇 反對概念

〇三者ヲ容ル、余地アルモノ

〇 矛盾概念

〇三者ヲ容ル、余地アルモノ

五 概念相互ノ關係上ヨリ種々ノ區別ガ生ズル。就中最モ重要ナモノハ、**反對概念**、Contrary concept 及**矛盾概念**、Contradictory concept ノ區別デアアル。反對概念トハ分量又ハ程度ノ差異ヲ現ハセル概念デ、二者ノ間ニ第三者ヲ容ルル餘地ノアルモノ、例へバ、大・小、美・醜、冷・熱、長・短等ノ如キモノヲ云フ。矛盾概念トハ之ニ反シテ、一方ノ概念ハ他方ノ概念ヲ全ク否定セルモノデ、其ノ中間ニ第三者ヲ容ルル餘地ノナイモノヲ云フ。例へバ、「有機體」ト「無機體」、「元素」ト「化合物」、「有」ト「無」ノ如キデアアル。大ニモ小ニモアラザル「中」ヲ考へ得レドモ、「有機體」ニモ無機體ニモアラザルモノハ到底考ヘルコトハデキナイ。

肯定的概念

消極的概念

矛盾概念ノ中、一方ノ有機體、元素、有ハ或ル性質ヲ肯定的ニ言ヒ現ハセルモノデアアルカラ、之ヲ**肯定的概念**ト云ヒ、コレニ矛盾セル「無機體」、「化合物」、「無」ハ之ヲ**消極的概念**ト云フ、消極的概念ハ名辭ノ上デハ大抵「不」、「無」、「非」等ノ否定的ノ言葉ヲ冠シテ居ルガ、シカシ、カカル言葉ノ附加サレテ居ル名辭ガ必ズシモ常ニ否定概念デアアルトハ云ヘナイ。例へバ、「無情」ト云フ名辭ハ單ニ情ガ

缺性概念

ナイト云フ意ニ止マラスシテ、積極的ニ「殘酷」ト云フ様ナ意味ヲ現ハシテ居ル場合ガ多イ、「有情」ニ對スル消極的概念ハ寧ロ「非情」ト云フ名辭ニヨツテ言ヒ現ハサレテ居ル。「不幸」ノ如キモ同シ意味ヲ消極的概念ト見ルベキデアアル。否定概念中、本來所有スベキ性質ヲ缺イテ居ルモノト見ルベキモノ、例へバ、盲、啞、聾、寡婦ノ如キハ、特ニ之ヲ**缺性概念**、Privative concept ト稱スル。  
尚以上ノ外ニ、**絕對概念**ト**相對概念**又**乖離概念**又ハ**異類概念**、**交叉概念**、**選言的**、又ハ**離接概念**、**同一概念**、**等值概念**等ノ區別ヲ爲スコトガデキルガ、此等ハサマデ肝要ナ區別デハナイ。



## 第四章 判斷

### 一 概 說

命題……(判斷)  
名辭……(概念)

判斷ヲ言語ニヨリテ言ヒ現ハシタモノヲ論理學上、**命題 Proposition**ト云フ。判斷ノ作用ハ命題トナルコトニヨリテ完成スルコト、恰モ概念ガ言語ニ言ヒ現ハサレテ名辭トナルニ及ンデ完成スルノト同一デアアル。

吾々が概念ヲ意識スルニ當リテ單ニ其ノ言語ヲ想像スルニ止マラズ、眞ニ其ノ内容ヲ意識スル際ニハ必ず其ノ概念ガ中心トナツテ之ニ關スル種々ノ判斷ガ意識ニ上ボルモノデアアル。シカシ論理學上判斷ヲ取扱フニ當ツテハ命題ニヨルノ外ハ無イノデアアルカラ、其ノ形式ニ現ハサレタ上カラハ二ツノ概念ヲ結合シタモノガ判斷デアルト見ル普通ノ解釋デ實際上ニハ差支ハナイ。差支ガナイノミナラズ甚ダ便宜デアアル。

命題  
主辭  
賓辭

斯様ナ見地カラ見ルト命題ハ三ツノ部分ニ分レル。主辭 Subject (判斷ニ就テ云ヘバ主概念又ハ主位概念ト譯ス、單ニ主位ト云ツテモヨイ)、賓辭 Predicate

繫辭(連辭)

(判斷ニ就テハ賓概念、賓位概念又ハ賓位) 及び繫辭(連辭トモ云フ) Copula 是デアアル。主辭トハ判斷ノ對像トナリ、主題トナレルモノデ、賓辭トハ主辭ニ就テ言ヒ現ハサレタモノヲ云フ。例ヘバ、「正直ハ最良ノ政略デアアル」ト云フ命題ニ於テハ「正直」ハ主辭デ、「最良ノ政略」ハ賓辭デアアル。繫辭トハ主辭ト賓辭トヲ連結スル作用ヲ爲スモノデ、此ノ例ニ於テハ「アル」ガ即チ繫辭デアアル。

外國語デハ繫辭ハ「アル」To Be (sein: être)ト云フ動詞デアアル。シカシ此ノ繫辭ハ必ずシモ言語ノ上ニ明カニ現ハレテ居ルトハ限ラナイ。英語デ The dog runs.ト云フ場合ニハ別ニ繫辭ト認ムベキモノガナイ。故ニ此ノ場合ニハ runsト云フ動詞ノ中ニ含まレテ居ルト見エバナラヌ。若シ強ヒテ繫辭ヲ示サウトスレバ The dog is running. 又ハ The dog is in the state of running.トセエバナラヌ。且本語デハ「犬ガ走ル」「氷ハ冷タイ」等ノ如ク、矢張り賓辭ノ中ニ繫辭ガ含まレテ居ル場合ガアル許リデナク、「アル」「ナイ」ト云フ繫辭ノ外ニ「テニテハ」ナルモノガアツテ、之ガ繫辭ノ用ヲ爲シテ居ル。例ハ「柳ハ綠、花ハ紅」ト云フ場合ニハ「ハ」ハ柳ト綠、又ハ「花」ト「紅」トチ連結シテ居ル。「犬ガ走ル」ノ「ガ」ノ如キハ殊ニ然リデアアル。之チ強ラテ「犬ガ走リツツアルモノデアアル」ト解スルノハ不自然ノ誹チ免レナイ。漢文ニ就テ云ヘバ、繫辭ノ現ハレテ居ナイ場合ハ一層多イ。故ニ論理學者ノ中ニハ繫辭ハ命題ノ要素ト見ズシテ、命題ハ單ニ主辭ト賓辭トノ二ツカラ成立シテ居ルト解スルモノガアル。此ノ說ニヨレバ、繫辭ノ現ハレテ居ル場合ニハ、其ノ賓辭ハ繫辭ヲ合併セタモノチ指スコトトナルデアアル。シカシ「カント」モ説イテ居ル様ニ、繫辭ヲ主辭ト賓辭トノ關係ヲ現ハスモノト見レバ、之チ特別ノ一要素ト見ルコトハ決シテ無用ノ贅物ヲ設クルモノトスルコトハデキナ



イ。所謂肯定的命題ニ對シテ否定的命題ヲ考ヘル場合ニ、一方ハ主辭ト賓辭トノ關係ノ存在ヲ表ハシ、他方ハ其ノ關係ノ存在ヲ否定スルモノト見ルトキハ其ノ肯定、否定ノ關係ヲ現ハス所ニ繫辭ノ必要ガアルノデアツテ、形式的ニ命題ヲ取扱フ上ニハ繫辭ヲ特別ノモノト見ル考ハ、其ノ理論ハ兎モ角トシテモ、少カラザル便宜ノ存スルコトハ承認セネバナラヌ。

命題ハ文法上デハ文章 Sentence ニ相當スルモノデアアルガ、凡テノ文章ガ直チニ論理上ノ命題ニアラザルコトハ注意スベキデアアル。例ヘバ疑問的ノ文章、即チ「代議政體ハ最良ノ政體ト云フベキカ」ノ如キハ命題デハナイ。命題ニハ何等カ一定ノ立言又ハ主張ガ存在セネバナラヌ。同ジ意味テ、感嘆又ハ願望ヲ現ハセル文章、例ヘバ「我ニ自由ヲ與ヘヨ、然ラザレバ死ヲ與ヘヨ」ノ如キモ命題トスルコトハデキヌ。

## 二 判斷ノ種類

普通形式的論理學ニ於テ取扱ツテ居ル判斷ノ種類ヲ述ブル前ニ、「カント」ノ判斷ニ關スル分類ヲ掲ゲテ一通リ之ヲ説明スルコトガ便利デアアル。前章ニ於テ「カント」ハ十二種ノ範疇ヲ區別シタコトヲ述ベタガ、之ハ判斷ノ形式カラ抽キ出シタモノデアツテ、彼ハ先ヅ判斷ノ分量 Quantity 性質 Quality 關係 Relation 様式 Modality ヲ區別シ、其ノ各々ニ三種ノ判斷ヲ區別シタ。之ヲ表ニシテ示セバ次ノ如クデアアル。

一、分量 (量) Quantity. 主概念ノ範圍ニヨリ。

全稱 (Universal) 凡テノ甲ハ乙ナリ。

特稱 (Particular) 若干ノ甲ハ乙ナリ。

單稱 (Singular) 甲ハ乙ナリ。

二、性質 (質) Quality. 主概念ト賓概念ト關係有無。

肯定 (Affirmative) 甲ハ乙ナリ。

否定 (Negative) 甲ハ乙ニアラズ。

無限 (或ハ不定) (Infinite) 甲ハ非乙ナリ。

三、關係 Relation. 思考ノ關係。

定言 (Categorical) 甲ハ乙ナリ。 賓概念ノ主概念對スル關係。

假言 (或ハ約結) (Hypothetical) 丙若シ丁ナラバ甲ハ乙ナリ。 理由歸結對スル關係

選言 (或ハ離接) (Disjunctive) 甲ハ乙ナルカ丙ナルカナリ。 部分ト全体ト關係

四、様式 Modality. 判斷ノ確實ノ程度。

實然 (Assertorical) 甲ハ乙ナリ。 實際ニ存在

蓋然 (Problematic) 甲ハ乙ナラン (甲ハ乙ナルカモ知レズ)。 カニ關係ノ可能ヲ現ス。



必然 (Apodictic) 甲ハ必ず乙ナリ。

判断ノ量トハ判断ノ主張ガ主概念ノ全範圍ニ就テデアルカ、一部分ニ就テデアルカヲ云フ。單稱判断トハ主概念ガ特殊ナ一個ノ對象ヲ示シテ居ル場合、即チ主概念ガ單獨概念デアル場合デアル。例ヘバ「カント」ハ近世ニ於ケル偉大ナル哲學者デアル」ノ如キ判断ハ單稱判断デアル。判断ノ質トハ主概念ト賓概念トノ關係ノ有無ヲ示セルモノ、質ニヨル三種ノ判断中無限判断ト名ヅクルモノハ、「カント」ニ從ヘバ、例ヘバ、「靈魂ハ不滅ノモノナリ」ノ如キモノデ、「靈魂ハ滅スルモノニアラズ」トハ其ノ趣ヲ異ニシテ居ル。何トナレバ「靈魂ハ不滅ノモノナリ」ハ形式ニ於テハ肯定的判断トナツテ居ルケレドモ、之ハ萬物ヲ滅スルモノト滅セザルモノトニ分ツタ場合ニ、靈魂ガ其ノ滅セザルモノノ中ニ屬スルコトヲ云ツタノミデ、カカルモノハ無限ニアルノデアツテ、靈魂ハ其ノ一ツニ過ギナイ。吾々ハ萬物ノ中カラ滅スルモノヲ取除クコトニヨツテ多少ノ制限ハスルガ、殘ル所ハ依然トシテ無限デアル。斯様ナ意味デ「カント」ハカカル判断ヲ無限判断ト名ヅケタノデアル。

次ギニ、判断ノ關係トハ判断ニ於ケル思考ノ關係デアツテ、之ニ三種アル。第一ハ賓概念ノ主概念ニ對スル關係、第二ハ理由ノ歸結ニ對スル關係、第三ハ部分ト全體トノ關係デアル。單ニ主概念ト賓概念トノ關係ヲ現ハスニ止マツテ、判断ノ主張ニ何等ノ條件モ伴ツテ居ナイモノハ即チ定言的判断デアル。之ニ反シテ判断ノ主張ニ或ル條件ヲ要スルモノ、例ヘバ「春來レバ雁北方ニ歸ル」ノ如キハ假言的判断デアツテ、「春來レバ」ハ「雁北方ニ歸ル」ノ理由、「雁北方ニ歸ル」ハ「春來レバ」ノ歸結ト見ルノデアル。最後ニ選言的判断ハ、例ヘバ「三角形ハ等邊ナルカ、不等邊ナルカ、孰レカデアル」ノ如ク、三角形ガ其ノ一部ノ等邊三角形及ビ不等邊三角形ニ對ナル關係ヲ現ハスモノデアル。此ノ判断ニ於テ等邊三角形ト不等邊三角形トハ其ノ範圍ニ於テ相互ヒニ排斥シ、且ツ相寄リテ三角形ノ全體ヲ作ツテ居ルノデアル。

最後ニ判断ノ様式ト云フノハ判断ノ確實ノ程度ヲ示スモノト云ツテモヨイ。「カント」ノ說ニ從ヘバ、様式ハ判断ノ内容トハ無關係ノモノデ、繫辭ノ論理的價値ヲ示スモノデアル。而シテ實然的判断ハ主概念ト賓概念トノ關係ガ實際ニ存在スルコトヲ言ヒ現ハセルモノ、蓋然的判断ハ單ニカカル關係ノ可能ナルコトヲ言ヒ現ハセルモノ(例ヘバ、雨天ニ暴風ヲ伴フコトガアル)、必然的判断ハカカル關係



ノ必然的ナコトヲ現ハセルモノ(例ヘバ、人ハ必ず死ス)デアアル。

「カント」ノ如上ノ分類ハ「アリストテレース」以來、中世時代マデ行ハレタ判斷ノ分類ヲ巧ミニ綜合シタモノデ、如何ニモ秩序整然トシテ居ルガ、然シ決シテ完全ナ分類ト云フコトハデキナイ。ソレデ今日普通ノ形式的論理學ガ命題ヲ取扱フ上ニ於テ判斷ヲ如何ニ分類シテ居ルカ一通リ述ベテ置ク必要ガアル。

先ヅ判斷ヲ其ノ量及ビ質ニヨツテ分類スルコトハ「カント」ノ分類ニ於ケルト同一デアアル。但シ、「カント」ノ所謂單稱判斷ハ其ノ主概念ノ全部ニ互リテ主張ヲ爲セルモノト解シテ之ヲ全稱判斷中ニ入レル。次ギニ、所謂無限判斷ハ其ノ形式上肯定判斷トシテ取扱フ。而シテ判斷ノ量ト質トヲ結合シテ全稱肯定(普通記號 A)ヲ以テ之ヲ表ハス、全稱否定(記號 E)、特稱肯定(記號 I)、特稱否定(記號 O)ノ四種類トスル。

全稱、特稱ノ區別ハ元主概念ノ全部ガ實概念中ニ包括サルルヤ否ヤニヨツテ區別サレタモノデアアル。其ノ點カラ云ヘバ單稱判斷ヲ別ニ設クルコトハ包攝(包括ニ同シ)的關係カラ云ヘバ其ノ當テ得ナイモノデアアル。何トナレバ、包攝關係カラ云ヘバ全部包攝サレルカ、一部包攝ザレルカノ外ニハ關係ガナイカラデアアル。

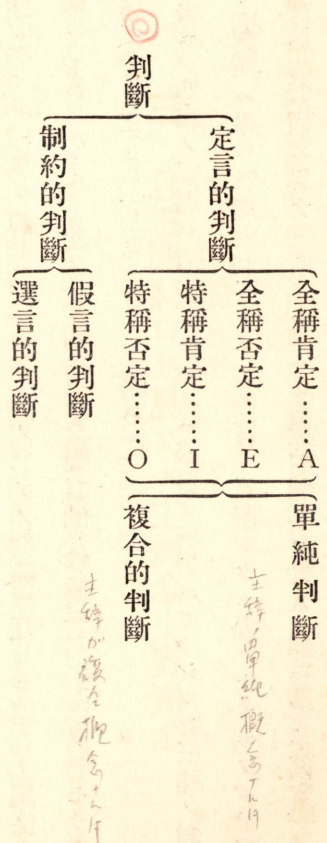
A E I O ノ符號ハ「ラテン」語ノ肯定(Affirmo)及ビ否定(Negatio)カラ取ツタモノデアアル。即チ Affirmo ノ最初ノ母音 A テ以テ全稱肯定、第二ノ母音 I テ以テ特稱肯定ヲ代表セシメ、Negatio ノ第一母音 E テ以テ全稱否定第二母音 O テ以テ特稱否定ノ判斷ヲ代表サシタノデアアル。以下簡略ノタメニ屢々此ノ記號ヲ用ヒルコトガアルカラ、生徒ハヨロシク之ヲ記憶スベキデアアル。

「カント」ノ所謂關係ニ關スル分類ハ普通ノ論理學ニ於テモ之ヲ採用スル。即チ定言的、假言的及ビ選言的ノ三種類ヲ區別スル。而シテ上述ノ A E I O ノ四種類ハ此ノ定言的判斷ノ分類ト見ルノデアアル。三種ノ中、假言的判斷ハ勿論條件附キノ判斷デアアルガ、選言的判斷モ亦直接的、絶對的ニ一定ノ主張ヲスルモノデナク、其ノ「甲ハ乙ナルカ丙ナルカデアアル」ノ乙又ハ丙ハ相互ヒニ關係セルモノデ、「甲ハ乙デアアル」及ビ「甲ハ丙デアアル」ノ二ツノ判斷ガ互ヒニ依存ノ關係ヲ有ツテ居ルモノト見ラレル。此ノ如キ理由カラ假言的及ビ選言的判斷ヲ併セテ之ヲ制約的判斷(Conditional judgement)ト稱スル。

最後ニ、様式ノ區別ハ或ル點ニ於テハ必要デハアルガ、シカシ三種ノ判斷ノ中、必然的判斷ハ畢竟實然的判斷ヲ一層確實ニ言明シタニ過ギナイモノデ、事實ニ於テハ實然的判斷ニ異ナル所ハナイ。蓋然的判斷ハ吾人ノ知識ガ不確實デアアルタメニ起ルモノデ、若シ事實ニ就テ精密ニ調査スレバ、自然ニカカル判斷ハ消滅セザルヲ得ナイモノデアアル。且ツカカル判斷ヲ思考ニ用フルコトハ往々誤謬ニ導ク虞



レモアル。カカル見地カラ見レバ、吾々ハ實然的判斷ノ外ニ特別ノ區別ヲ設クル必要ハナイ。此ニ於テ判斷ノ分類ハ凡テ左表ノ如クナル。



以上ハ斷定ノ主位トナリ實位トナルモノハ各々一個ノ概念ヨリ成ルモノトシテ説明シ來ツタガ、場合ニヨツテ主概念モ賓概念モ數個ノ概念カラ成立ツコトガテキル。例ヘバ「富貴モ威武モ此ノ人チ屈スルコト能ハズ」進化トハ簡單ナ狀態ヨリ複雑ナ狀態ヘ、純一 Homogeneity ノ狀態ヨリ尪雜 Heterogeneity ノ狀態ヘ移ルコトナリ」ノ如キハ此ノ種類ノ判斷デ、之ハ單純ナ判斷ニ對シテ特ニ複合的判斷ト稱スル。

以上ノ分類ハ判斷其ノ者ノ性質カラ見タ分類トシテハ甚ダ不完全ナモノデレ。何トナレバ、第一、判斷ニ於ケル主概念ト賓概念トノ關係ヲ單ニ其ノ外延上カラ考察シテ、判斷ハ主概念ガ賓概念中ニ包攝セラルルヤ否ヤヲ示スモノデアルトス

ルノハ、凡テノ判斷ノ性質ヲ悉スモノデナイ。「雪ガ白イ」ト云フガ如キ判斷ヲモ、「雪ハ白イモノデアアル」ト解釋スルノハ不自然デアツテ、判斷ノ本意ヲ示スモノデハナイ。又第二ニ、判斷ノ中ニハ、前章ニモ述べタ通り、概念ガマダ構成サレナイ前ノ判斷即チ單ニ吾々ノ感覺ニ基ヅイテ居ル判斷モアル。例ヘバ、夏日「暑イ」ト叫ブモ一種ノ判斷デアアルガ、シカシ此ノ如キ判斷ニハ主概念トシテ認ムルモノハナイ。シカシ、從來慣用ノ分類ハ判斷ノ結合カラ成ル推理ヲ取扱フ上ニ於テ實際上便宜ガ少カラズアル。又論理學上主トシテ取扱フ所ノ判斷ハ寧ロ高等ナ判斷デアツテ、其ノ原始的ノモノハ割合ニ關係ガ薄イ。ノミナラズ、之ヲ理論的方面カラ考フルモ、カカル分類ニハ又棄テ難イ根據ガアルトモ解セラル。

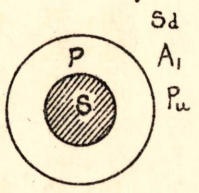
### 三 包攝關係ヨリ見タル主概念ト賓概念トノ關係

普通ノ形式的論理學ニテハ判斷ノ主概念及ビ賓概念ヲ專ラ其ノ外延上ヨリ見テ主概念ノ一部又ハ全部ガ賓概念ノ一部又ハ全部ノ中ニ包攝セラルヤ否ヤヲ現ハスモノト解釋スル。此ノ解釋ハ勿論人工的、不自然的タル弊ヲ免レナイガ、實際上



推理ヲ取扱フ上ニ於テ全ク棄テ難キ利便ノアルコトハ前節ニ説明シタ通りデア  
ル。此ノ見地ヨリ見ルトキハ先キニ擧ゲタル定言的判斷ノ四種類、即チA E I O  
ノ判斷ニ於テ其ノ主概念ト賓概念トノ關係ハ次ノ如クニ解スルコトヲ得ル。

(A) 「凡テノ甲ハ乙ナリ」「凡テノSハPナリ」之ヲ「オイラー」Euler (1707—  
1783) 氏ノ始メテ用ヒタ圖式ニヨリテ次ノ如ク現ハス。



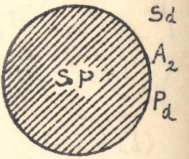
此ノ圖ハ「凡テノ人間ハ動物ナリ」ノ如ク、主概念ノ全部  
ガ賓概念ノ範圍内ニ包攝サレタルコトヲ示ス。此ノ場合ニ於  
テハ主概念ニ就テハ其ノ全部ノ範圍ニワタリテ主張サレテ居  
ルノデアアルガ、「動物」ト云フ賓概念ニ就テハ僅カニ其ノ一分  
部ト人トノ關係ヲ言ヒ現ハセルニ過ギナイ。凡テアル概念ニ  
就テ其ノ全部ニワタリテ主張スルトキハ、其ノ概念ハ之ヲ周延(或ハ擴充) Dis-  
tribution ヲ有ツテ居ル概念(或ハ周延又ハ擴充サレタ概念)ト云ヒ、單ニ其ノ一  
部分ノミニ就テ何等カ主張サレタ場合ニハ之ヲ不周延(或ハ不擴充) Undistributed  
ノ概念(或ハ周延又ハ擴充ヲ有タナイ概念)ト云フ。然ルニAノ判斷ニハ又上圖  
ノ如キ場合ガアル。

◎周延擴充

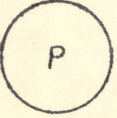
概念ノ全部ニワタリテ主張スル時

◎不周延不擴充

概念ノ一部ニワタリテ主張スル時



之ハ主概念ノ範圍ト賓概念ノ範圍トガ全然一致セル場合デ  
アル。例ヘバ「凡テノ等邊三角形ハ等角三角形ナリ」「源氏物  
語ノ著者ハ紫式部ナリ」ノ如キ判斷デアアル。「東京ハ日本第  
一ノ都會デアアル」ノ如キモ同様ノ判斷デアアル。這種ノ判斷ニ  
於テハ主概念モ賓概念モ共ニ周延サレテ居ルコトハ言フ迄モ  
ナイ。シカシ、此ノ如キ判斷ニ於テ其ノ賓概念ハ其ノ全部デアアルカ  
ハ形式上カラハ必ズシモ決定サレナイ。故ニAノ判斷ニ於テハ一般ニ其ノ主概念  
ハ周延ヲ有ツテ居ルガ、其ノ賓概念ハ周延ヲ有ツテ居ナイト云フ。其ノ意ハ賓概  
念ハ少クトモ其ノ一部ニ就テ主概念トノ關係ノアルコトガ示  
サレテ居ルト云フノデアアル。或ハ特別ノ場合ニノミ賓概念ガ  
周延ヲ有スル。



Sd  
E Pd

(E) 「凡テノ甲ハ乙ニアラズ」「凡テノSハPニアラズ」此  
ノ判斷ハ上ノ圖ニ示セルガ如ク、主概念ノ全部ガ賓概念ノ全  
部ト常ニ無關係デアツテ、主概念モ賓概念モ共ニ周延サレテ  
居ル。其ノ外ニハ何等ノ場合モアリ得ナイ。「凡テノ人間ハ

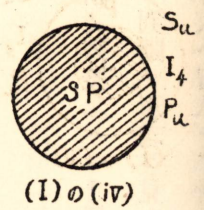
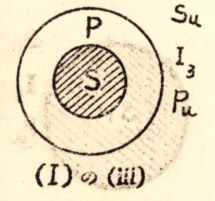
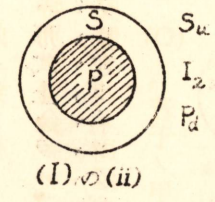
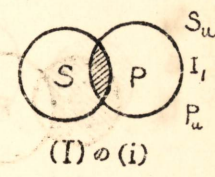


植物デナイ」ノ如キハ即チ此ノ種ノ判断デアル。

(I) 「若干ノ甲ハ乙ナリ」若干ノSハPナリ例ヘバモ若干ノ落第生ハ卓越セル運動家ナリ」ノ如ク、主概念ノ一部ト賓概念ノ一部トガ相一致セルモノデ、從ツテ主概念モ賓概念モ共ニ不周延デアル。此ノ如キ場合ハ此ノ判断ノ模範の場合トモ見ルベキモノデ、其ノ賓概念ハAニ於ケルト同ジク、形式的ニハ不周延ト解スベキデアルガ、實際ノ實事ニ於テハ尙ホ次ノ如キ三様ノ場合ガアル。

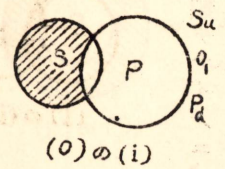
第一。「或ル人ハ盲人デアル」ノ如ク、主概念ハ其ノ一部分ニ就テデアアルガ、賓概念ハ其ノ全部ニ就テデアツテ、主概念ノ一部ガ賓概念ノ全部ト一致スル場合デアル。從ツテ此ノ場合ニ於テハ主概念ハ不周延デアアルガ。賓概念ハ周延サレテ居ル。

第二。之ハ事實ニ於テAノ判断デアアルノヲ故意ニ、若クハ充分ナ知識ヲ有タナイタメニ、Iノ判断ニシタモノデアアル。例ヘバ、凡テノ物質ガ不滅デアアルノニ、「或ル物質ハ不滅デア



此ノ如ク、Iハ判断ニ於テハ普通其ノ主概念モ賓概念モ共ニ不周延デアアルガ、特別ナ場合ニハ、其ノ主概念又ハ賓概念ノ孰レカ一方ガ周延サレルコトガアリ、又雙方共ニ周延サレルコトモアル。

(O) 「若干ノ甲ハ乙ニアラズ」若干ノSハPニアラズ例ヘバ「若干ノ藥ハ苦

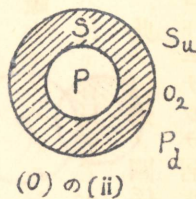


キモノニアラズ」此ノ圖ニ於テSノ一部トPノ一部トガ相互ヒニ一致シテ居ルノデアアルガ、此ノOノ命題ニ於テ言ヒ現ハサレテ居ル所ハ、Sノ一部ガPノ全部ニ對シテ關係ヲ有セザルコトデアアル。故ニSハ不周延デアアルガ、Pハ方ハ周延サレテ居ルモノト見ネバナラス。尙ホ此ノOニハ次ノ如キ場合

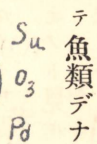
ガ存在スル。



S P  
A 周 不  
E 周 周  
I 不 不  
O 不 周



(0) の (ii)



(0) の (iii)

例へバ「若干ノ人ハ盲人ニアラズ」、此ノ場合ニ於テモ主概念ハ不周延ナレドモ、賓概念ノ「盲人」ハ周延サレテ居ル。尙ホ實際ノ事實ニ於テハEノ判断ヲ下スベキヲ、充分ナ知識ヲ有セザルガタメ、若クハ之ヲ知リツツモ特別ノ理由ニヨリテ殊更ラニOノ判断デ現ハスコトモアリ得ル。例へバ鯨ハ凡テ魚類デナイノニ、或ル鯨ハ魚デナイト云フガ如シ。此ノ場合ニハ其ノ形式カラ云へバ、Sハ不周延、Pハ周延サレテ居ルガ、事實ニ於テハ、SモPモ共ニ周延サルルコトナルノデアアル。

以上ノ考察ニヨリテ見レバ、形式的ニハ全稱判断ノ主概念ト否定判断ノ賓概念トハ常ニ周延ヲ有シ、特稱判断ノ主概念ト肯定判断ノ賓概念トハ常ニ不周延ト見ネバナラス。シカシ、事實上ヨリ之ヲ考フレバ、特稱判断ノ主概念及ビ肯定判断ノ賓概念ニシテ周延ヲ有スル場合ガアル。之ハ特別ノ場合トモ見ルベキデ、單ニ判断ノ形式ヲ見タノミデハ之ヲ決定スルコトハデキヌ。例へバ、前ニ舉ゲタ「盲人ハ盲人デアアル」ノ如キハ其ノ主概念ハ賓概念ヨリモ廣キ範圍ヲ有スルモノデ、

盲人ハ人ノ一部分デアリ、從ツテ賓概念ノ周延サレテ居ルコトハ明瞭デアアルガ、「凡テノ等邊三角形ガ等角三角形ナリ」ノ判断ニ於テ主概念ト賓概念ノ範圍ガ全然一致スルモノナリヤ否ヤ、若クハ「若干ノ鯨ハ魚ニアラズ」ノ判断ニ於テ、主概念ノ範圍ト賓概念ノ範圍トガ全然無關係ノモノデアアルカ否カハ、單ニ判断其ノモノノ形式カラハ決定スルコトハデキヌ。故ニ這種ノ判断ヲ單ニ其ノ形式上カラ考察セネバナラス場合ニハ、前述ノ如ク、一般ニ全稱判断ノ主概念及ビ否定判断ノ賓概念ノミガ周延ヲ有スルモノトシテ取扱ハレネバナラス。而シテ判断ガ種々ナ場合ヲ有スルコトハ、畢竟其ノ判断ノ言ヒ現ハセル所ガ多義ニシテ曖昧ナリト見ルコトヲ得ベク、場合ノ少キモノハ其ノ意義ガ比較的明瞭ニシテ曖昧ニアラザルモノト見ルコトガデキル。此ノ點ヨリ云へバEノ判断ハ最も明瞭ニシテ何等ノ曖昧ヲ許サズ、從ツテ此ノ判断ヲ下スコトハ最も困難デアアル。Eニ次イデ比較的明瞭ナモノハAニシテ、Oハ之ニ次ギ、Iハ最も曖昧ニシテ從ツテ此ノ判断ヲ下スハ最も容易デアアル。

此ノ包攝ノ關係即チ全部ト一部分トノ關係ハ形式的論理學ニ於テハ甚ダ重要ナコトニナツテ居ル。次章ニ於テ説明スル推理ノ如キモ畢竟此ノ關係ニ基ツイテ居ルノデアアル。



### 第五章 直接推理

#### 一 推 理

吾人ハ前章ニ於テ思考作用ノ最モ根本的ナモノハ判断作用デアアルコトヲ述ベタ。此ノ判断ノ作用ノ更ラニ一層發展シタモノガ推理デアアル。推理ハ之ヲ判断ニ比ブレバ複雑ナ精神作用デアツテ、判断ヨリモ比較的ニ發達シタ知的作用ヲ豫想スル。而シテ推理ハ判断ガ其ノ判断ヲ爲スニ至ル根據又ハ理由ノ意識ヲ伴フマデニ發展シタモノト見ルコトガデキル。

故ニ推理ノ作用ハ簡單ナ知覺作用ノ中ニモ既ニ含マレテ居ルノデアアル。例ヘバカネテ其ノ大サヲ知レル物體ノ距離ヲ知覺スルガ如キハ、主トシテ其ノ物體ノ眼ニ映ズル大小ガ標準トナツテ測ラレルデアツテ、其ノ距離ニ就テノ判断ニ一定ノ理由ガアル所カラ云ヘバ、推理デアアルガ、カカル場合ニハ大抵明瞭ニ其ノ理由ヲ意識セズシテ、殆ト瞬間的ニ距離ノ知覺ガ行ハレル様ニナツテ居ルカラ、推理シタトハ見エナイ。

吾人ノ知力が充分ニ發達シナイ時ニハ、知覺又ハ記憶ニヨリテ得ル判断ヲ其ノ儘ニ受取りテ之ニ就テ其ノ理由ヲ反省スルコトヲシナイ。他人カラ與ヘラレル判断ニ就テモ、如何ニシテカカル判断ガ形成サレタカヲ考ヘナイ。然ルニ知力ノ發達スルニ連レテ懷疑的・批評的精神ガ現ハレル様ニナレバ、

必ズ判断ノ理由ヲ尋ネテ、果シテカカル判断ガ真正ナモノデアアルカ、否カヲ考ヘル。前章ニ於テ判断ハ反省作用ノ結果トシテ生ズルモノデアアルコトヲ説明シタガ、推理ハ判断ニ就テ更ラニ反省シ其ノ理由ヲ尋ナル所カラ生ズルモノデアアルト云ヘル。

判断ノ理由ヲ尋ネルト云フコトハ、畢竟其ノ判断ト他ノ既知ノ判断トノ關係ヲ尋ネテ、與ヘラレタル判断ガ既知ノ判断ヨリ必然的ニ導キ出サルル關係ヲ有シテ居ルコトヲ示スコトデアアル。

### 結論 断案 前提。

推理ニ於テ其ノ理由ヲ求ムベキ判断、若クハ導キ出サルル判断ハ之ヲ結論(又ハ断案) Conclusion ト云ヒ、其ノ理由トスル判断ハ之ヲ前提 Premise ト稱スル。普通ニハ前提ハ既知ノ知識デアツテ、結論ハ新タニ知ル所ノモノデアアルガ、然シ場合ニヨツテハ、結論ハ何等ノ理由ヲモ自覺セズシテ曾テ既ニ認メタモノデアツテモ差支ハナイ。此ノ場合ニハ推理ハ其ノ眞實ナル事ヲ論證スルコトニナル。執レニシテモ、推理ハ知識ト知識トヲ連絡セシメテ、全體ヲ一個ノ體系的ノモノト爲ス作用デアツテ、此ノ點ニ於テ推理ハ判断ノ體系建設ノ作用ヲ更ラニ一層發展セシムルモノト見ラレル。否、二層適切ニ之ヲ云ヘバ、吾人ノ知識ガ元來體系的デアツテ、其ノ執レノ部分ヲ取ルモ全ク孤立シテ居ナイデ、必ズ其ノ他ノ凡テノ部分ニ依存シテ居リ、其ノ一部尙ホ能ク全體ヲ代表スルニ足ル様ニナツテ居ルカラ、推理モ成立シ得ルノデアアル。

### 對當關係 判断 变形

論理學者ハ普通推理ヲ大別シテ直接推理 Immediate inference 及ビ間接推理

Mediate inference ノ二種類トスル。直接推理ト云フノハ、前提トナル判断ハ唯一

ツデアツテ、此ノ判断カラ直接ニ結論トナル判断ガ導キ出サレルモノ、間接推理ト云フノハ、前提トナル判断ハ二ツアツテ、其ノ相互ノ關係カラ結論ガ導キ出サ

### ① 直接推理

### ② 間接推理 三段論法



レルモノ、普通三段論法 Syllogism ト稱スルモノデアル。所謂直接推理ト稱スルモノハ、概ネ一ツノ判断ヲ他ノ異ナツタ形式デ言ヒ現ハスニ過ギナイ。或ハ與ヘラレタ判断ノ内容ヲ一層明白ニスルニ過ギナイト云ツテモヨイ。從ツテ之ヲ推理トハ見ズシテ寧ロ判断ノ變形ト呼ブノガ適當デアルトスル説モアル。シカシ、所謂三段論法トテモ、嚴密ニ云ヘバ、必ズシモ全然新タナ判断ヲ作り出スモノデハナイ。畢竟既知ノ判断相互ノ關係中ニ潜在的ニ含マレテ居ルモノヲ表面ニ取り出シテ、之ヲ開展シタモノト見ラレル。此ノ點カラ見テ間接推理ニ對スル直接推理ヲ説クモ必ズシモ不當デハナイ。但シ、其ノ直接推理ノ中ニハ單ニ言語ニ現ハレタ形式ノ變更ト見ルノガ適當ナモノガアル。ヨツテ直接推理ヲ分チテ對當關係ニヨル直接推理、判断ノ變形ニヨル直接推理ノ二種トスル。

## 二 對當關係ニヨル直接推理

判断ノ主概念及ビ賓概念ガ同一ニシテ而モ判断ノ量ト質トノ中ノ孰レカ一ツ、又ハ雙方トモ異ナレルニツノ判断ノ關係、特ニ其ノ眞僞ノ關係ヲ判断ノ對當關係 Opposition ト稱ス。今此ノ對當ノ關係ヲ A E I O ノ四種ノ判断ニ就イテ考察ス

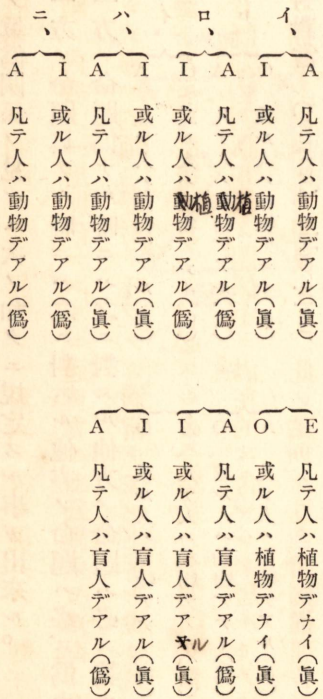
レバ、次ノ四種類ノ對當關係ガ成立スル。

### (一) 大小對當 Subalternation

量ヲ異ニシテ居ルニツノ命題(AトI・EトO)ノ對當關係デ眞僞關係ハ次ノ如ク規定スルコトヲ得。

- イ、 全称眞ナル時ニハ特稱又必ズ眞ナリ。
- ロ、 全称僞ナル時ニハ特稱ノ眞僞不定ナリ。
- ハ、 特稱眞ナル時ニハ全称ノ眞僞不定ナリ。
- ニ、 特稱僞ナル時ニハ全称又必ズ僞ナリ。

例、



### (二) 矛盾對當 Contradictory opposition.



量ト質トノ兩者ヲ異ニシテ居ルニツノ命題(AトO・EトI)ノ對當關係ヲ云フ。今ツノ眞僞關係ヲ見ルニ次ノ如クニ規定スル事ガ出來ル。

イ、一方ノ命題眞ナル時ニハ之ニ對スル他方ノ命題ハ必ず僞ナリ。  
ロ、一方ノ命題僞ナル時ニハ之ニ對スル他方ノ命題ハ必ず眞ナリ。

- 例、
- イ、 $\begin{matrix} A & \text{凡テ人ハ動物デアアル(眞)} \\ O & \text{或ル人ハ動物デアナイ(僞)} \end{matrix}$
  - ロ、 $\begin{matrix} A & \text{凡テ人ハ植物デアアル(僞)} \\ O & \text{或ル人ハ動物デアナイ(眞)} \end{matrix}$

(三) 反對對當 Contrary opposition.

質ヲ異ニシテ居ルニツノ全稱命題、(AトE)ノ對當關係ヲ云フ。  
眞僞關係ノ規定ハ次ノ如シ。

イ、一方ノ命題眞ナル時ニハ之ニ對スル他方ノ命題ハ必ず僞ナリ。  
ロ、一方ノ命題僞ナル時ニハ之ニ對スル他方ノ命題ハ眞僞不定ナリ。

- 例、
- イ、 $\begin{matrix} A & \text{凡テ人ハ動物デアアル(眞)} \\ E & \text{凡テ人ハ植物デアナイ(僞)} \end{matrix}$
  - ロ、 $\begin{matrix} A & \text{宗教ハ凡テ迷信ナリ(僞)} \\ E & \text{宗教ハ凡テ迷信ニ非ズ(眞)} \end{matrix}$

此所ニ注意ス可キハ矛盾對當ト反對對當ノ差異ニシテ、前者ハ中間ノ判斷ヲ容レル餘裕ハナイガ、後者ハソレヲ有シテ居ル點デアアル。即チ兩者共ニ眞ナルコト

ヲ得ナイガ、兩者共ニ共ニ僞ナルコトガアリル場合ガ存シテ居ル。

(四) 小反對對當 Subcontrary opposition.

質ヲ異ニシテ居ルニツノ特稱命題(IトO)ノ對當關係ヲ云フ。  
眞僞關係ノ規定ハ次ノ如シ。

イ、一方ノ命題ガ眞ナル時ニハ他方ノ命題ノ眞僞不定ナリ。  
ロ、一方ノ命題僞ナル時ニハ他方ノ命題必ず眞ナリ。

「アリストテレース」ハ、此ノ原理ヲ名ツケテ「總體及ビ皆無ニ關スル原理」

Dictum de omni et nullo ト云ツテ居ル。

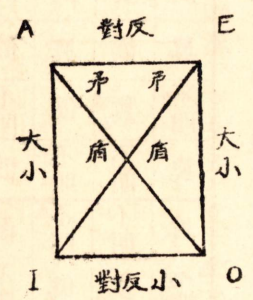
以上四種ノ對當關係ヲ普通上ノ如キ圖式ニヨツテ現ハス。

之ヲ「アリスステレース」ノ對當ノ方形

Square of opposition ト云フ。更ラニ此ノ

對當ノ眞僞關係ヲ概括シテ表ニスレバ次

對當方形 Square of opposition.



ノ如シ。

コノ表ニヨツテ吾々が實際ニ議論ヲ爲シ、又ハ思考ヲ爲スニ多少參考トスベキ



				眞デアル場合			僞デアル場合		
O	I	E	A	A	E	O	A	E	O
僞	眞	僞	眞	眞	僞	眞	眞	眞	眞
眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞
眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞
眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞
眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞	眞

二三ノ注意ヲ演繹スルコトガ  
 デキル。第一ニ、A (凡テノ  
 人ハ宗教心ヲ有ス)又ハE (凡  
 テノ學生ハ運動家ニ非ズ)ノ  
 判断ヲ論破スルニハ反對對當  
 ノ判断(E・凡テノ人ハ宗教心  
 ヲ有セズ、又ハA・凡テノ學

ハ生運動家ナリ。)ヲ以テスルコトモデキレバ、矛盾對當ノ判断即チO (或ル人  
 ハ宗教心ヲ有セズ)又ハI (或學生ヲ運動家ナリ)ヲ以テスルコトガデキル。シ  
 カシ、反對對當ノ判断ハ全稱判断デアツテ之ヲ明證スルニ困難デアルノミナラズ、  
 兩者共ニ僞ノ場合モアリ得ルカラ、勞多クシテ効果ガ少ナイト云フ結果ニモナル、  
 故ニ寧ロ特稱判断ヲ以テスル方ガ便利デアツテ、シカモ其ノ功果ハ却ツテ多イ。  
 何トナレバ、O又ハIヲ立スル際ニハ必ズシモA又ハEニ矛盾スル事實ヲ多ク列  
 舉スル必要ハナイ。唯一ノ場合ト雖モ、A又ハEヲ論破シ得テ其ノ僞デアルコト  
 ヲ證スルニハ充分デアル。而シテ特稱判断ハ前ニモ述べタ如ク、其ノ主位ト賓位

トノ關係ニ就テ種々ナ場合ヲ有スルモノデアツテ、從ツテ其ノ意味ガ曖昧デアル。  
 之ヲ論破センガタメニハ、是非共A又ハEノ全稱判断ヲ立セネバナラス。即チA  
 又ハEハ其ノ意義ガ明瞭デアリ、知識トシテハ價值ガ多イダケニ之ヲ立スルコト  
 ハ困難デアツテ、而モ他カラ攻撃サレ易イ。之ニ反シテO又ハIハ其ノ意義ガ明  
 瞭ヲ缺イテ居リ、知識トシテハ價值ガ少ナイダケニ之ヲ立スルコトハ容易デアツ  
 テ、而モ他カラ論破スルコトガ稀デアルト云フ結果ニナル。

第二ニ、AトEトガ知識トシテハ明瞭デアツテ價值多ク、IトOトハ不明デア  
 ツテ價值ガ少ナイト云フノハ、要スルニAEIOノ判断ヲ真理トシテ之ヲ肯定シ  
 タ場合ニ就テ云フノデアツテ、之ハ前掲ノ表ニ現ハレタ所、即チA又ハEノ眞デ  
 アル場合ニハ一ツモ不明ナモノガ無イノニ、IトOトノ眞デアル場合ニハ、不明  
 ナモノガ現ハレテ居ルノニヨツテモ知ルコトガデキル。然ルニAEIOヲ僞ナリ  
 トシテ之ヲ否定シテ場合ニ於テハ、AEノ判断ニ不明ナモノガ現ハレテ居ルガ、  
 IOニハ一ツモ不明ナモノガ現ハレテ居ナイ。之ニヨツテ考フレバ、アル判断ヲ  
 否認スル時ハ、是認スル場合ト反對ニ、特稱判断ヲ否認スル方ガ全稱判断ヲ否認  
 スルヨリモ、ヨリ多クノ知識ヲ吾々ニ與フルモノデアルト云フコトガデキル。